モニタリング結果報告書 (案)

施設名 : 県立観音崎公園

指定管理者: 横浜緑地(株)・西武造園グループ

施設所管課(事務所名): 横須賀土木事務所

(平成22年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月10日	5月28日	新たなボランティア『花のボランティア』開始
5月	6月10日	7月23日	GW連休イベント他盛況
6月	7月9日	8月10日	第40回戦没殉職船員追悼式
7月	8月9日	9月9日	連日猛暑・BBQ利用多い
8月	9月10日	11月9日	猛暑好天イベント盛況・公園見回り隊
9月	10月8日	12月13日	台風12号, 横浜緑地内部調査

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

観光公園・地域連携の観点から公園利用者を増加させる事業を提案した。

- ①観光公園として、自然解説や歴史解説、シップ観察ガイド等を充実して感動と発見のある公園づくり
- ②これまでに拡大してきた横須賀市浦賀・鴨居地区行政センター主催で実行委員会形式で行っている観音崎フェスタを盛り上げるとともに、公園独自の祭りを開催する。
- ③市民ボランティア、企業CSR等さまざまな活動を受け入れ、いきいきとした活動の場を提供する。

<実施状況>

①ボランティア団体であるフィールドレンジャーによる、自然・歴史・地層などのガイドツアーを毎週日曜日及び祝日に開催している。

また、スタッフによる歴史遺産ガイドや、公園案内を実施した。

公園案内: 毎週日曜 10:00~15:00 10名/回

②公園独自の祭りを開催

4月17日(土) お茶の植栽会 参加者 80名

5月23日(日) うのはな祭り 参加者 38名 天候 雨

③花のボランティアを設立

新規ボランティアとして花のボランティアを設立した。

毎月1回開催、4月より活動を開始し、花の広場を中心に花壇の手入れ、花卉の栽培を行なっている。 参加者 40名/月

3 収支状況 (単位：千円) 注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	107,581	79,800	27,781	107,581	0
上半期計 (a)	61,115	39,612	0 (0)	49,961 (21,690)	11,154
下半期計 (b)					
4月	8,025	5,946	0 (0)	3,908 (2,280)	4,117
5月	9,797	6,651	0 (0)	7,033 (2,865)	2,764
6月	9,001	7,410	0 (0)	7,819 (1,419)	1,182
7月	12,316	7,823	0 (0)	11,602 (4,261)	714
8月	13,979	5,860	0 (0)	10,380 (7,997)	3,599
9月	7,997	5,922	0 (0)	9,219 (2,868)	△ 1,222
合計 (a+b)	61,115	39,612	0 (0)	49,961 (21,690)	11,154

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

昨年に引き続き、高速道路の延伸や土日有料道路のサービス、公園利用促進イベント開催による来園者増・駐車場利用者増により、収入が増加した。
 また、再委託先の見直しや、駐車場料金徴収業務など効率化を図り、支出額の圧縮に努めた。
 年度計画書に記載のとおり、所長1名、副所長2名、主任2名 スタッフ11名を配置し、運営をおこなった。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	特になし	
支出の状況	特になし	
積立等の状況	特になし	(期首)
		(期末)

- 収入の状況: 定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況: 車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況: 積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	445,000人	400,600人	11.1%
下半期計 (b)	0人	0人	
4月	64,000人	79,000人	△19.0%
5月	87,500人	69,300人	26.3%
6月	67,500人	47,500人	42.1%
7月	72,500人	57,400人	26.3%
8月	91,500人	79,600人	14.9%
9月	62,000人	67,800人	△8.6%
合計(a+b)	445,000人	400,600人	11.1%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

- ・上半期をとおして前年比11.2%の増加であった。他県ナンバー車が多く来園されていることから、高速道路延伸（馬堀海岸まで）による都市圏から利用しやすさが利用者数増加に寄与している。
- また、好天に恵まれ公園利用者が増加した。

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	4	1				5
5月	3	1				4
6月	5					5
7月		3				3
8月	1	3		1		5
9月	1	1				2

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

海岸利用者からシャワー、足洗い場設置の要望が多く寄せられた。海水浴場ではないのでインフラを含め、設置は難しいため、公園再生計画の中で検討する。
近隣からの草刈り等の要望については、作業日を連絡し、対応している。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・授乳室の利用	研修室を臨時使用
	・足洗い場の設置	検討中
職員対応	・ケガの応急処置の対応	即対応、感謝される
	・	
事業内容	・	
	・	
その他	・近隣からの草刈り要望	日時を連絡して実施
	・榴弾砲模型の資料要望	資料を揃え、送付

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
5月6日	トランポリンロープが切断された。メーカーに依頼し修繕
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	地域連携として、新規ボランティアを立上げ、毎月定期的に開催している。また、8月に横須賀市行政センター主催の情報連絡会議に参加し、下期の活動について打合せを行った。下期は、魅力あるイベントや眺望の確保など、公園魅力アップに尽力する。バリアフリー対策が今後の課題である。
施設所管課	<p>乗用式刈払機の導入から、植物管理の作業効率は良く、アジサイの花がら摘みや剪定等適正に行った。夏期は海水浴やBBQ利用者で賑わい、園内除草や灌水を行った。修繕については随時直営で補修を行った。木製遊具の危険が伴う箇所は使用禁止とし、今後は危険になる前に補修や対策を行っていく必要がある。</p> <p>新たに花のボランティア活動が発足し、各団体と交流を図っており、今後も継続する必要がある。</p> <p>5月GWイベントは天候に恵まれ、盛況に行われた。6月には第40回戦没・殉職船員追悼式が行われ、両陛下がご臨席された。七夕祭には園児による短冊飾りをビジターセンターやレストハウスにも展示。今後も継続的に県内外の団体利用者の推進を進める必要がある。</p> <p>今後の課題は、PDCA目標シートの見直し検討、バリアフリー化調査や環境管理の計画内容の充実とその実践である。</p>